

# 平成 26 年度「県民協働による事業改善」質疑応答要旨

事業名：北陸新幹線建設促進費

平成 26 年 9 月 13 日（土）

質 問 内 容	回 答 内 容
<p>【土屋龍一郎氏（有識者）】</p> <p>平成 26 年度において予算が 600 万円増額した理由はなにか。</p> <p>観光部との棲み分けはどうか。</p> <p>建設促進費の富山県と長野県との経済・観光交流と、観光振興事業の観光連携は重複しているのではないか。</p> <p>【酒井茂氏（有識者）】</p> <p>開業効果を地域活性化につなげることが重要である中で、他県と観光ルートの開発等について連携した方が良いのではないか。</p> <p>大学生の争奪については既存の大学も新幹線の開通をにらんだ対策が必要である。</p> <p>そういったものを考慮した利用促進等が必要と考える。</p> <p>【小宮山淳氏（有識者）】</p> <p>来年 3 月に金沢まで延伸するが、今後の事業の方向性は？</p>	<p>【堀田交通政策課長】</p> <p>開業に向けた実行委員会への負担金で、開業を P R するイベントや物品製作等が予定されている。</p> <p>開業するまでは企画振興部で、開業後の観光振興等については観光部で対応する。</p> <p>観光部とは連携して取組んでいる。</p> <p>【堀田交通政策課長】</p> <p>建設促進同盟会負担金は大阪開業まで継続するものである。</p> <p>活性化協議会負担金については、協議会が平成 23 年 12 月の設立から概ね 5 年間ということで活動しており、平成 27 年度末か平成 28 年度の初めで解消する見込みである。</p> <p>開業関係事業費負担金は平成 26 年度限りである。</p>

# 平成 26 年度「県民協働による事業改善」質疑応答要旨

事業名：北陸新幹線建設促進費

平成 26 年 9 月 13 日（土）

質 問 内 容	回 答 内 容
<p><b>【柳沢吉保氏（有識者）】</b></p> <p>新幹線をどう活用して地域振興を図るかが重要だが、活性化協議会が活動終了するというのは残念である。</p> <p>交通政策課が事務局となり、中心的な役割を果たして北しなの線沿線に利用促進団体が立ち上がったが、同じように新幹線の利便性を活かした地域振興に資する県民・地域住民参加の取組の継続が必要で交通政策課が果たすべき役割は大きい。</p> <p>青森・道南の取組事例、国交省の集約型都市に関する事例等あるので、それらを参考に北陸新幹線版の取り組みを行ったり。</p> <p><b>【福田志乃氏（有識者）】</b></p> <p>新幹線による影響・効果を経済界・民間が自覚して取組むべきである。そうした中で経済活性化協議会の解散は残念である。京都はアメリカの観光誌で 1 位になった。ルートを引きますということ PR するのではなく、それぞれの自覚が重要である。</p> <p><b>【酒井茂氏（有識者）】</b></p> <p>新たに飯山駅が開業するが、飯山市では 40 億円を超える大きな投資を行っており、投資効果を上げるために真剣な取組が必要。</p> <p>県観光協会をはじめ民間の取組が重要で、主体となるべきである。その中で官民の役割分担を明確にして連携、充実させて取組むべきと考える。</p>	<p><b>【堀田交通政策課長】</b></p> <p>取組める人員体制の確保を求めている。</p>

# 平成 26 年度「県民協働による事業改善」質疑応答要旨

事業名：北陸新幹線建設促進費

平成 26 年 9 月 13 日（土）

質 問 内 容	回 答 内 容
<p><b>【柳沢吉保氏（有識者）】</b></p> <p>当事者がしっかりしなければいけないのは当然のことである。それを連携させる役割をどこかが果たさなければならないが、移動手段としての新幹線が地域振興の核になるので、交通政策課がその役割を果たすことが適当と考える。</p> <p><b>【土屋龍一郎氏（有識者）】</b></p> <p>事業について、振り返った時に 209 万円は負担金として使われており、活性化協議会の行っていることがポスターの作成や会議費用となっている。そうすると、他部局でも予算があるが、これなら観光部に予算を集中配分した方がよいのではないか。</p> <p><b>【県政モニターA氏】</b></p> <p>沿線地域以外である中・南信の連携はどうなっているのか。</p> <p><b>【県政モニターB氏】</b></p> <p>善光寺御開帳奉賛会や南信のイベントのキャラバンと連携し、観光客を呼び込むことができるのではないか。</p> <p><b>【県政モニターB氏】</b></p> <p>新幹線の開業が決まっているため、建設促進は進めることでよいが、観光部との関係で、松本空港と連携した取組の検討をした方がよいのではないか。</p>	<p><b>【堀田交通政策課長】</b></p> <p>経済活性化協議会は、経済界とともに取組んでいる組織であり、長野県の負担金は 29 万 7 千円である。</p> <p>今後は観光部門での誘客が重要になるため、今後の補正予算等を含めて組立てられると思う。</p> <p><b>【堀田交通政策課長】</b></p> <p>直接的な連携は特にない。</p> <p><b>【行政改革課柄沢課長補佐】</b></p> <p>観光部の取り組みであるため、趣旨を伝えておく。</p>

# 平成 26 年度「県民協働による事業改善」質疑応答要旨

事業名：北陸新幹線建設促進費

平成 26 年 9 月 13 日（土）

質 問 内 容	回 答 内 容
<p>【福田志乃氏（有識者）】</p> <p>大阪まで開業した場合の長野からの所要時間はどの程度か。</p>	<p>【堀田交通政策課長】</p> <p>ルートが決まっていないので公的なものはないが、過去に同盟会による長野・大阪間 2 時間 8 分との試算がある。</p>